

『神戸市市民の水辺連絡会』 会員団体の活動紹介



神戸市市民の水辺連絡会について

■神戸市市民の水辺連絡会とは

私たちの生活に「やすらぎ」や「うるおい」を与えてくれる「水辺」をみんなで守り育てていくことを目的に昭和56年10月に結成されました。

現在、13団体が神戸市内の水辺でクリーン作戦や様々な催しを通じて、子どもたちへの環境教育等の活動を展開しています。地域の憩いの場である水辺を、次の世代へ引き継ぐためにも、地域や学校との連携を通じて、活動の輪が広がり、そして繋がっていくことを目指しています。

■会員（計13団体、令和7年7月29日現在）

明石川タコピ-倶楽部

伊川を愛する会

押部谷明石川愛護協議会

北区山田川を美しくする会

新湊川を愛する会

住吉川清流の会

天井川を美しくする会

都賀川を守ろう会

布引・市ヶ原を美しくする会

櫛谷川愛護協議会

兵庫運河を美しくする会

福田川クリーンクラブ

妙法寺川を美しくする会

（五十音順）

■事務局

神戸市環境局環境保全課



明石川タコピー倶楽部

- 発足年度：平成23年4月
 - 加入年度：平成27年度
 - 会 長：大中 良英
 - 会員数：14名
 - 主な活動：明石川中流域の子どもたちを対象とした水辺環境の学習とクリーン作戦の展開等
 - 問合せ：E-mail akashigawa1@yahoo.co.jp
-

□団体紹介

明石川タコピー倶楽部は明石川を主な活動拠点として、河川環境や防災、川遊び等幅広い知識を楽しく身に付けながら、地域の自然に親しむことを目的に様々な活動を実施しています。

現在、年2回程度、魚とりや植物観察、自然探索などを行っています。

その他、明石川の外来植物や魚類の駆除、小学校での水辺学習の出前講座（現在1校）、タコノアシの栽培と保全、明石川河川敷の草刈りや清掃活動などを行っており、今後もより多くの人々が参加できるような活動を計画していく予定です。



明石川タコピー倶楽部



夏イベント（竹製イカダ遊び）



夏イベント（魚とり・水遊び）



秋イベント（参加者記念撮影）



秋イベント（木工工作）



伊川を愛する会

- 発足年度：平成6年3月
- 加入年度：平成5年度
- 会長：植條 峰雄
- 会員数：個人会員98名、法人会員66社、団体会員45団体
- 主な活動：伊川流域でのクリーン作戦、リバーフェスタ、伊川谷小の児童を対象とした水辺教室等
- 問合せ：伊川を愛する会（西区役所伊川谷出張所内）
TEL 078-974-0001

□団体紹介

伊川は全長11.9キロメートルで、北区のしあわせの村付近に源を発し、明石公園北側で明石川に合流します。神戸市でもまれな「自然」と太山寺、惣社等「歴史的遺産」と「都市型の街並み」の中を流れる川です。伊川谷地域の全体を流域として、まちのほぼ中心部を縦断する形で流れており、伊川谷地域の象徴的存在になっています。

伊川を愛する会は、私たちの生活に「やすらぎ」や「うるおい」を与えてくれる伊川の「自然環境」の保全と「環境の美化」に取り組み、その活動を通じて「地域住民の交流を図る」ことを目的に、平成6（1994）年発足しました。

私たちの夢は、満開の桜のもと、伊川にたくさんの鳥や昆虫がいて、ごみ等が捨てられていない、大人も子供もみんなが楽しく遊んでいる憩いの川にすることです。

地域住民は、伊川を「ふるさとの川」として愛着を抱いています。この伊川の美しさを守り育てるため、私たちはクリーン作戦やリバーフェスタを実施し交流を広めています。また、地域には多くの学校・園があり、次世代を担う若者たちと協働し、教育の場として「水辺教室」や「こども淡水魚教室」等も開催しています。

これからも、貴重な地域の財産である「美しい川・伊川」が地域住民の「ふるさとの川」として愛され、憩いの場所となるように活動を行っていきたく考えています。



伊川を愛する会



水辺教室



伊川リバーフェスタ



伊川大クリーン作戦



伊川流域ウォーク



押部谷明石川愛護協議会

- 発足年度：平成16年7月
- 加入年度：平成17年度
- 会 長：光富 吉友
- 会員数：個人会員17名 法人会員51団体
- 主な活動：明石川流域でのウォーキングとクリーン作戦、押部谷明石川まつり等
- 問合せ：押部谷明石川愛護協議会事務局
MAIL：akashigawamatsuri@gmail.com

□団体紹介

押部谷明石川愛護協議会は、素晴らしい明石川流域の自然環境を地域の財産として守り、育て、次世代を担う子どもたちに伝え、さらに歴史ある農村集落と新しいニュータウンの人々が一体となって、人と自然との共生を図り、豊かな人間環境を創造し、人々の交流を進めるための活動を行っています。

このことから、押部谷明石川まつりや、草刈り・クリーン作戦といった地域に根差した活動のほか、機関誌「明石川通信」を発行する等、広報啓発活動も行っています。

令和7年8月24日曜日に開催する押部谷明石川まつりは、いかだ・ボート遊びや水辺の生きもの調査等明石川の魅力に直接触れる機会をつくるとともに、伝統芸能や子どもたちの出演するステージ、消防団の放水、多数の模擬店等も加わる地域住民の手作りのイベントとして実施しています。

また、ウォーキングとクリーン作戦では地域の自然や歴史といった魅力の再発見、住民のヘルスアップ、環境美化と地域内外の人々との交流を目的に、快い汗を流しながら散策を兼ねて実施しています。

押部谷明石川愛護協議会



ウォーキングとクリーン作戦



草刈り活動



押部谷明石川まつり（ステージ）



押部谷明石川まつり（さかなとり）

北区山田川を美しくする会

- 発足年度：昭和52年11月
- 加入年度：昭和56年度
- 会長：松本 啓二
- 会員数：会員36団体
- 主な活動：志染川（山田川）流域のうち大池地区から衝原湖までの河川敷（約13キロメートル）及び流域住宅地域でのクリーン作戦、流域の児童を対象とした生きもの学習会等
- 問合せ：北区山田川を美しくする会 会長 松本啓二
TEL 078-581-6750

□団体紹介

神戸市北区山田町の中央部を流れる山田川は、古くから地域のシンボルとして親しまれてきました。「北区山田川を美しくする会」は、昭和52年に当時水質の悪化した山田川を自分たちの手で元の美しい川に戻そうと、流域の自治会を中心に結成されました。

会のメイン行事は、毎年3月第一日曜日に行う清掃活動「山田川クリーン作戦」で、その活動範囲は北区大池地区から衝原湖までの総延長約13キロメートルの河川流域と、その周辺の住宅地域で、参加者数は最大で39団体、総勢約6,700人にもものぼります。

川のごみ拾いから川床の草刈り等の清掃活動を行うことで、水中生物の増加や野鳥、ホタルも見られる自然環境の保全にも努めています。

クリーン作戦も47回を終え、地域の年中行事として定着し、大人から子どもまで地域をあげて熱心に清掃活動に取り組んで頂いています。

「北区山田川を美しくする会」は、今後も清掃活動のほか、一部で問題となった不法投棄の防止・マナーの向上を呼びかける啓発活動等を通じて、山田川の自然を守り続けていくとともに、山田川を通じて、あらゆる世代の住民がともに水辺に親しみ、コミュニケーションを育てる場として、地域づくりにも役立てたいと考えています。



北区山田川を美しくする会



クリーン作戦



クリーン作戦



自然学習会



新湊川を愛する会

- 発足年度：平成15年8月
- 加入年度：平成16年度
- 会 長：森本 豊
- 会員数：25名
- 主な活動：新湊川での川づくり（清掃を含む）、川あそび、七夕灯籠流し
- 問合せ：新湊川を愛する会 会長 森本 豊
TEL 090-9982-5714

□団体紹介

新湊川は三面コンクリート張りの、大きな排水溝の様な川でした。震災後の復旧工事で親水河川となったのを機に、「新湊川を愛する会」を結成し、「長田の街にふるさとの川を！」を合言葉に、岸辺の緑化等に取り組んできました。今では兩岸に葦やキショウブ等がしげり、魚やエビ・カニ等がたくさん棲み、初夏には葦の茂みの中でハグロトンボが舞い飛ぶ自然豊かな川になりました。

春から秋にかけては月一回「川あそび」を開催し、近隣の子供たちと一緒に魚とりや水生生物の観察などを行っています。蘇った身近な自然を思う存分楽しんでもらうとともに、地域のみんなで「ふるさとの川」を守り育て、次の世代に伝えていきたいと思ひます。

また、少しでも多くの人達に、蘇った自然を味わってもらおうと、8月7日に「七夕灯籠流し」を行っています。近隣の人達や各学校で制作してもらった絵や切り絵、書等を灯籠にして、遊歩道に展示したり、川面に浮かべたりして鑑賞してもらいます。今年で6年目になりますが、兩岸の草むらの間に浮かぶ灯籠はとても幻想的で、長田の夏の風物詩として楽しみにしてくださる方が年々増えてきています。是非、長田の夏祭りとして定着させていきたいと考えています。



新湊川を愛する会



川づくり



川あそび



灯籠展示



灯籠流し



住吉川清流の会

- 発足年度：昭和54年4月
- 加入年度：昭和56年度
- 会長：竹田 統
- 会員数：46名
- 主な活動：住吉川クリーン作戦、住吉川探検隊、住吉川絵画コンクール、住吉川川柳コンクール、飼い犬パトロール
- 問合せ：住吉川清流の会事務局（東灘区地域協働課内）
TEL 078-841-4131

□団体紹介

住吉川清流の会は、この住吉川流域の自治会・婦人会・子供会等が中心となって組織している団体で、主に住吉川の自然環境を守るために活動をしています。

当会の活動の中心である春秋に開催する住吉川クリーン作戦では、約1,200人が集まって河川や周辺の美化活動に取り組んでいます。

住吉川に生息する水生生物の観察を行い、川や生きものに親しむ機会となっています。さらに、夏休み期間中には、小学生以下を対象とした「住吉川絵画コンクール」や秋には住吉川をテーマにした「住吉川川柳コンクール」を行っており、コンクール入賞作品は東灘図書館に展示しました。

その他にも「飼い犬パトロール」を行い、住吉川河川敷を利用される飼い主の方のマナー啓発を行っています。

また、主に小学生の夏休み期間中には実際に川へ足を運んで、お題の絵を描くといったミッションを達成してもらう「住吉川探検隊」を行います。

今後も皆さんに親しまれる清流「住吉川」を守っていくために、地域の方々と一緒に活動していきます。

住吉川清流の会



クリーン作戦



絵画コンクール



川柳コンクール



飼い犬パトロール

天井川を美しくする会

- 発足年度：昭和62年4月
- 加入年度：平成11年度
- 会 長：住本 禮隆
- 会員数：個人会員28名、高尾台・水野町まちづくりと須磨ライオンズクラブ・月見山連合自治会
神戸市立北須磨小学校
- 主な活動：天井川流域でのクリーン作戦

□団体紹介

天井川は人間のエゴから下流に行くほど川幅が狭いので、大雨になると川の氾濫の危機感があるので、5か所で流量計算を行った結果、山陽電車の鉄橋付近が一番氾濫の危機があることが分かりました。

天井川は、治水・親水・環境の保持と阪神淡路大震災災害の備えに重きを置いています。

しかし、天井川の東側道路を通過する自動車から不法投棄するゴミの清掃に振り回されています。毎月の第4日曜日には須磨体育館前に集まって上流に向かい清掃していますが、会員の老化で人数が減りましたが、嬉しいことに参加者が増えました。私の息子や孫、家内まで協力しています。

秋のクリーンハイキングには横断幕を造り、12か所に掲げていますが一向にゴミは減らず、正にゴミとの格闘です。横断幕のスローガンは9月中に北須磨小学校の児童に応募を呼び掛け、それを須磨ライオンズクラブのメンバーに2名だけ選んでもらって、横断幕を作り掲げています。このクリーンハイキングのコースとして上流の天皇池（通称）から西尾根へ登り南へ、そして須磨離宮公園に入園しトイレ休憩後、有名な傘停の前で神戸市立北須磨小学校の児童80人位が離宮公園園長から歴史を学び、そして庭本講師から、天井川に住む昆虫の話聞き、11時半ごろに帰校します。

最近不法投棄が少なくなり、予定の時間より早く終わるようになりました。



天井川を美しくする会



横断幕



生きもの学習会



河川清掃



河川清掃



都賀川を守ろう会

- 発足年度：昭和51年9月
- 加入年度：昭和56年度
- 会長：岡本 博文
- 会員数：約2,000名
- 主な活動：都賀川流域での清掃活動、子どもたちを対象とした親水行事等

□団体紹介

当会結成当時の都賀川は、捨てられたごみやヘドロが川底にたまり、悪臭のひどい、誰からも見向きもされない川でした。その汚さは「アユの大群が都賀川の河口に現れたが、川のあまりの汚さに遡上しなかった」という新聞記事が出るほどでした。しかし、この記事が関心呼び、都賀川の流域の住民を中心に「都賀川に清流を取り戻し、美しい川を時代に引き継ごう」をスローガンとして、当会が結成されました。

今では都賀川は清流として生まれ変わり、アユも多く遡上するようになりました。県より都賀川が親水空間として整備されたこともあり、一年を通じて都賀川の遊歩道を散歩やジョギングで楽しむ人々の姿も見られ、住民の憩いの場所として親しまれています。当会は発足当初から、河川清掃等の美化活動のほか、子どもたちを対象とした様々な行事を実施してきました。ゲリラ豪雨による急増水が多発する近年では、「川の楽しみ」だけでなく「川の恐ろしさ」を子どもたちに伝えることにも力を入れています。



都賀川を守ろう会



うなぎと金魚のつかみ取り大会



アユの稚魚の放流



河川清掃



水と水鉄砲教室



布引・市ヶ原を美しくする会

- 発足年度：昭和54年5月
- 加入年度：昭和56年度
- 会 長：伊豫本 きよみ
- 会員数：10名（婦人会、登山会・愛山会、PTA、こども会）
- 主な活動：「山であそぼう！」イベント実施
- 問合せ：布引・市ヶ原を美しくする会事務局（中央区地域協働課内）
TEL 078-335-7511

□団体紹介

本会は、市民の財産である布引・市ヶ原の自然を、市民の手で守り育てるとともに、その自然とのふれあいの中で、青少年の健全育成を図ることを目的として活動しています。中央区の小中学生および保護者を対象に、秋に「山であそぼう！」イベントを実施しています。



山であそぼう！



櫛谷川愛護協議会

- 発足年度：平成5年12月5日
- 加入年度：平成5年度
- 会長：後藤 茂
- 会員数：20団体
- 主な活動：櫛谷川流域でのクリーン作戦、櫛谷川まつりの開催
- 問合せ：櫛谷川愛護協議会事務局（西区役所櫛谷出張所内）
TEL 078-991-1001

□団体紹介

櫛谷川の浄化と流域の環境美化を目指して、河川敷の草刈り・清掃を地域住民で行っており、年間延べ1,200名を超える会員が活動で汗を流しています。また、令和5年より10月に栃木地区河川敷において「櫛谷川まつり」を開催しております。

【開催状況】

- ・2024年（令和6年）10月26日「第31回櫛谷川まつり」 参加人数約1,000名
- ・2023年（令和5年）8月26日「第30回櫛谷川まつり」 参加人数約1,200名
- ・2022年（令和4年）8月27日「第29回櫛谷川まつり」 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止
- ・2021年（令和3年）8月28日「第28回櫛谷川まつり」 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止
- ・2020年（令和2年）8月29日「第27回櫛谷川まつり」 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

この川まつりを通じて、ニュータウンと地元櫛谷町の地域住民相互の交流が深まり、河川愛護活動や地域の環境美化活動への理解が着実に広がっています。

今後とも櫛谷川が住民の憩いの場であり、地域交流の場であり続けられるよう、環境保全・環境整備を推進していきます。

櫛谷川愛護協議会



櫛谷川まつり



櫛谷川まつり



櫛谷川クリーン作戦



櫛谷川クリーン作戦

兵庫運河を美しくする会

- 発足年度：昭和46年4月
- 加入年度：昭和56年度
- 会 長：服部 鋭治
- 主な活動：兵庫運河周辺での清掃活動、兵庫運河での生物多様性保全活動等
- 問合せ：兵庫運河を美しくする会事務局（寄神建設株式会社 内）
TEL 078-681-3120

□団体紹介

明治32年に完成した水面積が日本最大の兵庫運河は、昭和40年代には水質汚染が頂点に達しました。昭和46年に運河に関連する企業が中心となり「兵庫運河を美しくする会」を発足しました。その後、運河に面する企業の排水管理が徹底された結果、水質も大幅に改善され、現在では数多くの生物が生息する日本で有数な自然豊かな運河に生まれ変わりました。

当会は、発足当時より清掃活動を中心とした美化啓発活動を実施していましたが、平成25年より「兵庫運河の自然を再生するプロジェクト」の活動名で、会員の兵庫漁協が中心となり、兵庫運河を美しくする会、兵庫水辺ネットワーク、兵庫運河真珠貝プロジェクト、浜山小学校の5団体が協力し、子どもたちに運河の自然を身近に親しんでもらうイベント開催や、運河に生息する生物調査も定期的に行っています。

平成27年から実施した運河の生物調査では、国・県・市のレッドリスト種に登録されている貴重な貝類等の生息を多数確認できたのは大きな成果でした。

平成28年から始めた浜山小学校の環境学習では、兵庫漁協の水産研究会が中心となり、運河でのアサリの育成実験や生息生物についての授業をプロジェクトの一環として実施しています。

令和3年12月には「兵庫運河の藻場・干潟と生きもの生息場づくりプロジェクト」として、運河内に移植したアマモなどによるCO2吸収量が「Jブルークレジット」として認証されました。

今後も、会員企業が協力し地域に貢献できるよう活動します。

兵庫運河を美しくする会



クリーン作戦



浜山小学校環境学習



アサリ育成実験場



実験場で採れたアサリ

福田川クリーンクラブ

- 発足年度：平成14年4月
- 加入年度：平成19年度
- 会 長：村上 健一郎
- 会員数：約60名
- 主な活動：福田川流域のクリーン活動、福田川生物多様性確保プロジェクト、川原橋ビオトープ運営、地域交流・環境保全啓発イベントの開催
- 問合せ：事務局：〒655-0016 神戸市垂水区高丸3丁目2-15
TEL 090-8651-9525 FAX 078-709-3737 E-mail info@fukuda-river-cc.org
- ホームページ：http://fukuda-river-cc.org

□団体紹介

福田川は、神戸市内の川の中でもかなり水質が悪く、しかも上流ほど水質が悪い特徴を持っています。ゴミの投棄もあります。一方、たくましく生き物が生息し、自然環境が残っているところもあります。福田川クリーンクラブは、福田川で市民が安心して遊べ、在来の生きものたちを守り育てていくことを目的として、活動しています。

クラブでは、全長約8キロメートルの福田川流域4か所で月1回、日曜日の午前中にクリーン活動を行っています。

また、流域の生物の生息状況・環境の確認や水質の記録を目的に「福田川の生物多様性調査」を継続実施。調査結果をクラブのWebサイトやブログをはじめ「水辺・たるみ交流会」を開催して、市民や学生、行政機関と共有しています。令和3年度からは、アメリカザリガニやブルーギル、アカミミガメといった特定外来種の駆除にも本格的に着手しています。

全国的にも珍しい汽水域のビオトープを、垂水区役所に近い河口の川原橋の高水敷に付近の地区から湧き出る清水を引き込み運営しています。メダカや水生生物が地域住民に親しまれています。

今年度も、8月9日（土）の大潮干潮の日に地域の児童を招き「福田川 川遊び＆生き物調べ」を、10月4日（土）の中秋の名月の日近くには地域の皆さまと「中秋の名月といも煮を楽しむ会」などの地域交流イベントも企画しています。

福田川クリーンクラブ

■ クリーン活動



■ 福田川の生物多様性調査



■ 流域の雑草雑木刈り取り作業 ■ 水辺・たるみ交流会



■ 中秋の名月といも煮を楽しむ会



■ 刺し網体験会



妙法寺川を美しくする会

- 発足年度：平成15年3月
- 加入年度：平成17年度
- 会長：中島 康伸
- 会員数：130名
- 主な活動：妙法寺川流域でのクリーン作戦、須磨学園環境学習清掃活動、瀧川学園奉仕清掃活動等
- 問合せ：妙法寺川を美しくする会事務局（株式会社ナガタ薬品内）
TEL 078-791-8861

□団体紹介

妙法寺川を美しくする会は、妙法寺川の美化に努め、清流を取り戻すとともに、昆虫や魚介の生息しやすい環境をつくり、子どもたちや多くの人々が水辺で遊び憩うことのできる親水河川として改善することを目的に、河川沿いの自治会、婦人会、老人会等を中心に結成されました。

妙法寺川の延長は約7キロメートルありますが、現在は板宿周辺の養老橋から妙法寺公園や下中島公園付近までの約1.6キロメートルにおいてクリーン作戦を行っています。

クリーン作戦は、毎月1回、第2水曜日の小規模作戦（毎回約8名）、6・10・12・3月の年4回の大規模作戦（毎回約100名）で実施しています。

広報啓発活動として、空き缶やペットボトル、自転車やテレビ等の不法投棄や犬の散歩中のビニール袋に入ったペットの糞等が川に捨てられている現状から、横断幕「汚さないきれいな川とやさしい心」等を設置、犬の散歩マナーを記載した「水に流せるポケットティッシュ」を配布し、理解と協力をお願いしています。

川の親水護岸整備工事も終わり、妙法寺川がより一層、地域の皆さんの憩いの場として、また、生きものたちが生活しやすいように川底も工夫され、アユ等が遡上するようなよう妙法寺川を目指して活動していきたいと思っています。

妙法寺川を美しくする会



清掃活動（小規模）



清掃活動（大規模）



環境体験学習



活動学習